学校番号	３０１

令和２年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校生の美術１」　（日本文教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ、考えたことから制作する「美術･彫刻」、目的や機能を活かした「デザイン」、感じ取り、分析し、深く思考する「鑑賞」の分野について学習します。
・一人ひとりの個性を重んじ、思考、感受性、見方の違いを活かし、基本的な内容を学習します。各表現形式の特性や形体・色彩・技法などに着目して、自分なりの思考、感受性、見方をのどかにすることを目標とします。作することを目指す。多彩な表現を様々な角度で「鑑賞し」、さらに理解を深め、美術に対する見識を深めます。

２　学習の到達目標

美術の幅広い制作を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を育むとともに、感性を高め、創造的な表現を伸ばし、鑑賞の能力を豊かにし、美術文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や多岐にわたる美術文化に関心を持ち、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	今まで培った感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、各表現における目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	個性溢れる創造的な美術の表現をするために必要な技能と技術を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの多様な表現方法や美術文化などを理解し、その文化的背景、よさ、美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 完成作品	制作途中の作品 作品	発言内容 レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	美術とは何か？	【鑑賞】【絵画】 ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し，多様な表現様式について学び、美術学習のイメージを養う。 【デッサン】 ・モチーフ立方体の制作 ・デッサン	○	○	○	○	a:美術の多様な表現に関心をもち、これからの学習意欲を高めている。 b:美術作品の良さと美の魅力を感じ取り、美術の働きや文化などの理解を深めている。 c:対象を見つめ、形体の特徴をつかみ、構成などの工夫をしている。 d:デッサンの目的を理解し、鉛筆の特性を活かして表現している。	学習態度の様子 制作の様子 作品
	自己のイメージ	【デザイン】 ・アイデアスケッチ ・色彩基礎 ・色彩構成 ・自己を分析し、創造、表現 スケッチブックの表紙にアクリル絵の具で着色する。自分のイメージを考え、明度・彩度・配色。構成等を工夫する。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○		a：自分自身を分析し、イメージを豊かにし、表現することに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら、構成を練り、表現しようとしている。 b：条件や美しさ等から形や色彩などの働きを考えて、表現の構想を練っている。 c：アクリル絵の具の特性を活かし、表現方法を工夫し、条件や計画を基に表現している。	制作の様子 制作途中の作品 作品

二学期	美術鑑賞とレポート	【絵画】【デザイン】 ・美術館で美術鑑賞 ・レイアウトと内容構成のデザイン ・レポート	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	d：美術展を選択し、各展覧会の意図、良さや美を感じ取り、社会生活を豊かにする美術の働きや作品などについて理解を深めている。 a：展覧会や美術作品、作家に興味を持ち、その内容、美しさを理解し、自己の創作に活かそうとしている。 b：鑑賞の感想、感じ取ったことを作品写真などや文章表現を創造的に構成し、全体の構想を考えている。 c：展覧会の内容、観想、文化的背景などを記事とし、色彩と配置を工夫し表現している。	完成作品
	抽象画を学ぶ	【絵画】【鑑賞】 ・20世紀の大保養的な抽象画を鑑賞する ・鑑賞で用いた各表現を基に色彩、構成等を工夫し、表現、*制*作する。	 ○	 ○	 ○	 ○ 	d：２０世紀における抽象表現の特徴を理解し、その思考と文化背景を学ぶ。 a：多才な美術表現における良さ、美しさと文化的背景に関心　を持ち、創造、表現しようとする。 b：理解し、感じ取って表現とその特徴を活かしながら、主題を生成し、表現の構想を考える。 c：各々の抽象表現に必要な技術を身につけ、意図に応じて色彩の美しさ、画面構成、表現法方を工夫している。	学習活動の様子 制作の様子 作品
	印象派を学ぶ	【鑑賞】【絵画】 ・印象派の絵画鑑賞 ・外の風景を印象派の特徴的な技法、表現を活かして写生、制作	 ○	 ○	 ○	 ○ 	d：印象派の絵画の意図、美、描き方を味わう。 a：印象派の美しい色彩、立体的な対象の捉え方などに関心を持ち、表現しようとする。 b：心象派の空間や明暗の描き方などの構想を練っている。 c：色彩の豊かさ、空間、明暗などの表現を技術的に工夫し描いている。	学習活動の様子 制作の様子 作品

三学期	絵巻物	【鑑賞】【絵画】 ・鳥獣戯画絵巻の鑑賞 ・絵巻物の制作	○	○	○	○	d:国宝の絵巻物の表現、譜での使い方、物語の展開を学ぶ。 a：伝統的な表現と独自の文化に興味を持ち、感覚選の描き方の特性などを理解する。 b：感性と想像力を働かせ、個性的な物語を考え、全体の絵の内容と構成や表現の構想を練っている。 c：筆の使い方の技術を身につけ、和紙の扱いを理解し、着色と表現を工夫している。	ワークシート 学習活動の様子 制作の様子 作品
	折り紙建築	【彫刻】【デザイン】 ・美術館をテーマに自分のオリジナルな美術展を企画し、紙で飛び出す建築を作る。 ・美術作品写真のレイアウト ・表紙のデザイン	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○		a：教科書及び美術館鑑賞を基に自分なりの感性で個性溢れる美術館と作ることに取り組む。 b：多様な美術展の特徴を活かし、その主題を考え、作品を観客に見せる構想を練っている。 c：二次元から三次元への表現法方と技術の工夫をしており、立体的に美術館が立ち上がり、全体的に美術作品の美しさや展覧会意図を見せる表現をしている。カッターや定規、接着剤などを的確に使用している。	ワークシート 製作中の作品 作品

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。